

平成28年度 庄内自然博物園構想推進協議会 会議概要

日時：平成28年4月20日（水）14：00～16：00

場所：鶴岡自然学習交流館 「ほとりあ」

… 次第 …

1. 開 会 （進行：東海林環境課長）
2. 挨拶 （橋本正輝 会長）
3. 報 告
 - （1）協議会委員の確認について
 - （2）指定管理者の更新について
4. 協 議
 - （1）平成27年度事業経過報告について
 - （2）平成27年度収支決算について
 - （3）平成28年度事業計画（案）について
 - （4）平成28年度収支予算（案）について
 - （5）庄内自然博物園構想推進協議会設置要綱の改正と体制について
 - （6）寄附金制度の創設について
 - （7）その他
5. その他
6. 閉 会

◇◇◇ 会議概要（質疑応答） ◇◇◇

3. 報 告

(1) 協議会委員の確認について

…質疑なし…

(2) 指定管理者の更新について(説明：吉田専門員)

…質疑なし…

4. 協 議

(1) 平成 27 年度事業経過報告について

(攪乱事業について)

- 今後も面積を拡大しながら攪乱を行う予定か。攪乱を行うことにより保たれてきた都沢の湿地が衰退するのではないか。また、田面高を揃えるために攪乱を行なったとうことだが、田面高が揃っていない方が野生生物にとって過ごしやすいし繁殖もしやすいと考えている。もっと議論すべきではないのか。
- 今回の攪乱については運営委員会にて議論を経て合意形成を図ったうえで実施している。次回以降はそういう意見もあるということも吸収しながら、合意形成を図っていきたいと思う。手続きはそのようなことで進めている。
- 湿地の保全をするために生物の多様性が大事だということ、特に湿地の植物は攪乱をしないとどんどん遷移していき、湿地でなくなるので、攪乱を行うと運営委員会で決まったのだが、今回は規模があまりにも大きすぎたと思う。水管理の為に必要だということ容認はできるが、管理が優先していると感じる。

事務局→ 様々な意見があるため、保全管理WGや運営委員会でも議論をしたが、全体としては都沢湿地を低湿地に戻していく活動であり、平成 27 年度は全体の整理として都沢湿地の低湿地再生に関して、外来植物、外来生物の駆除も行い、水管理が必要ということで、攪乱または田面高を合わせるということは統一した考え方として実施したということを理解いただきたい。外来生物は根絶して在来生物を増やしていくというのが全体の協議会の事業の考え方なので、そのために田面高を合わせる必要があ

る。ただし、一定の面積、拡大面積ありきで進めているという訳ではないので、その点だけは理解いただきたい。

……承認……

(2) 平成 27 年度収支決算について

(収支決算の記載方法について)

- 収支の比較に増減という記載の仕方は適切か。△印は減額に使うものではないのか。

事務局→ ご指摘のとおり。次年度からは改める。

……承認……

(3) 平成 28 年度事業計画 (案) について

(草刈り等について)

- 有償の草刈り作業について過度の草刈り作業をやっている。畔とか道路の保全という面で草刈をやるということだが、管理が主体であって、生態系を無視しているということに繋がってくると思う。ここにしかないようなものもかなり見えているので、それらを守る意味でも刈る場合は必要最小限で人の歩く場所だけを刈るような格好にしてもらいたい。
- できれば植物がわかる人に刈ってもらいたい。刈る場合もトラ刈りでいいと思う。動物がまったく来なくなっているということは、人の手があまり行き届きすぎた過剰の状態になっていると思う。
- 前から過剰な草刈りはしないでくれと言い続けてきた。全部刈られてしまうと生き物たちが繁殖もできない。ただ減っていただけだ。生態系はつながっている、そのことを理解し、残す所、過剰に刈っては悪い所を区別していかないと、生き物たちが減少して、ついにはわれわれ人間の住む環境も悪くなっていくので考えてやってもらいたいと思う。
- 今生態系の話があったが、近年、ハクビシンが増えている。タヌキもいなくなり、ヘビもいなくなり、ウサギもいなくなった。昔はあったタヌキの糞塚がなくなっている。これはなぜかということ、子供のうちにハクビシンがみな食べてしまう。必ずしも自然が変わったということではなくて外来種が入ってきた為が変わってきたのではないかと思う。
- 今、ハクビシンも減ってきている。地球全体の生き物が減少している。

野山を歩いて気づくことはまず虫がいない。虫を食べている小動物もいなくなっている。これはどこの山に行っても同じで、そういう気が付かないようなところで環境変化が起きている。

- 虫の住むところがなくなり、環境が変わってきている。それが大きな問題になっている。全国的に虫の種類がちぐはぐになっている。人の立場では害虫といわれるものを食べる益虫が少なくなっている。これは農薬などが原因である。ここだけでなく日本全体で問題になっている。

会 長→ 今の意見をふまえて事業計画案を直して運営委員会にかけていただきたい。

事務局→ 草刈りに関して、水路付近で草が枯れて水路が埋まってしまうと、水が流れる面積が少なくなってしまうのでそういう意味での草刈の必要性もあると思っていただきたい。全部刈るのかということに関しては運営委員会で議論していただきたい。土手の斜面に関しては西郷土地改良区と改めて連携をしていきたい。最後に動物の減少ということで、都沢湿地では3年ほど前から、散策道にタヌキの「ため糞」が見られるようになった。減ってしまった動物もいるが、今まで見られなかった生き物もいる。指摘を受けた件については、運営委員会で議論していただき、管理上必要な部分もあるということを理解していただき、どこを刈らない方がいいということは一緒に歩き、指導していただきたい。

(野焼きについて)

- 野焼きは野鳥や小動物には影響が出てくると思うので運営委員会でよく議論してやってもらいたい。

事務局→ 納得がいくまでしっかり議論した上で、実施したい。

(水質調査について)

- 大山上池下池の水質調査について、昨年、コハクチョウが帰ってくる時間帯にボートが走っていて、コハクチョウが怖がって降りてくるのが出来なかったという報告が一般の方からあった。時間帯等、配慮してほしい。

事務局→ 配慮していく。

(ラムサール登録 10 周年に向けた活動について)

- ほとりあができて今年で 5 年目、ラムサールになって間もなく 10 年、今後はラムサール湿地指定市町村の総会なども考えられる、今年は大切な年だと考えられる。ラムサール条約湿地の写真展などをやり、今からこの素晴らしい湿地の写真を撮っておき、節目のパンフレットの表紙になるような写真を集積しておくということが必要だ。

事務局→ 平成 30 年でラムサール登録から 10 周年を迎えるのでそのことも視野に入れていきたい。

……承認……

(4) 平成 28 年度収支予算 (案) について

……承認……

(5) 庄内自然博物館構想推進協議会設置要綱の改正と体制について

……承認……

(6) 寄附金制度の創設について

- 寄付申出者について情報開示はどこまで出来るのか。

事務局→ 寄付者に氏名等の情報開示をされるか確かめ、本人が良いとなれば開示する。開示方法については活動報告書の中に寄付者一覧を付ける等、現在事務局で検討している。

- 税金の寄付控除についてはどうなるのか。

事務局→ 協議会は任意団体なので寄付控除にはならない。

……承認……

(7) その他

…質疑なし…

5. その他

(活動報告書について)

- 活動報告書のコラムの寄稿を受けた方には製本したものを配布していただきたい。
- 学習にきた小学生等には配布できないか。
事務局→ 5 中学区に関しては製本したものを配布する。その他の小学校に関しては簡易製本を、鶴岡市内全ての学校に配布する予定。

6. 閉 会